

日本金融教育支援機構が主催する 「第2回 FES コンテスト」に代ゼミが協賛

学校法人高宮学園代々木ゼミナール（本部：東京都渋谷区／理事長：高宮英郎）は、一般社団法人日本金融教育支援機構（所在地：東京都中央区／代表理事：平井梨沙）が主催する「第2回 FES コンテスト」に協賛いたします。FES コンテスト（Financial Education Support Contest for Student）は、小学生のための金融教育動画を中学生が制作し、そのクオリティを競うイベントです。

FES コンテストの概要

お金に関する8つのテーマ、「使う」「稼ぐ」「納める」「貯める」「備える」「贈る」「借りる」「増やす」について、小学生が学べる動画コンテンツを中学生が制作し、そのクオリティを競います。イベントの運営を担う大学生は、ワークショップ「FES コンテストへの道」などで中学生を支援し、参加する中学生はコンテンツ制作の過程でお金や経済について学びます。小学生～大学生まで幅広い層が金融教育に関わり、コンテストへの参加を通じて「金融教育が自分ごとになること」をねらいとしています。



【応募期間】 ～2024年9月15日

【応募資格】 全国の中学生・高校生

【応募条件】 45秒～60秒以内の縦型動画作品

【応募方法】 日本金融教育支援機構の「LINE公式アカウント」
または「Google フォーム」

詳細は、コンテストのWEBサイト (<https://faincation.com/fesc/>)
をご確認ください。

協賛の背景

2022年4月から高校で金融教育が義務化され、主に家庭科の授業で、家計管理や資産形成、金融トラブルの対処方法などについて指導することとなりました。この背景として、少子高齢化に伴う年金財政の悪化を受けて資産運用の必要性が高まったこと、また、2022年に成年年齢が18歳に引き下げられ、若い世代における金融トラブルの増加が懸念されたこと、などが挙げられます。これにより高校生の金融リテラシーの向上が期待される一方、指導にあたる教員からは、「授業日数が確保できない」「指導する側の知識が十分とは言えない」といった声が上がっています。こうした状況を踏まえ、高校の授業以外にも、子ども達がお金や経済を自分ごととして捉える機会を創出する必要があると考えました。

日本金融教育支援機構が主催する「FES コンテスト」は、お金の持つ8つの力をテーマとすることで初学者でも関心を持ちやすく、また、小学生に向けて「正しく」「簡潔な」説明が求められることから、アウトプットの過程で理解を深めることができるプログラムとなっています。これは「お金や経済を自分ごととして捉えさせる」という我々のビジョンに合致するとともに、本コンテストの高校への案内を通じ、間接的に金融教育の発展にも貢献できると考え、今回の協賛に至りました。

<本件に関する報道関係のお問合せ先>

担当：代々木ゼミナール広報企画部

TEL：03-3379-5221 E-mail：pr_info[at]yozemi.ac.jp（[at]を@に変えてください。）